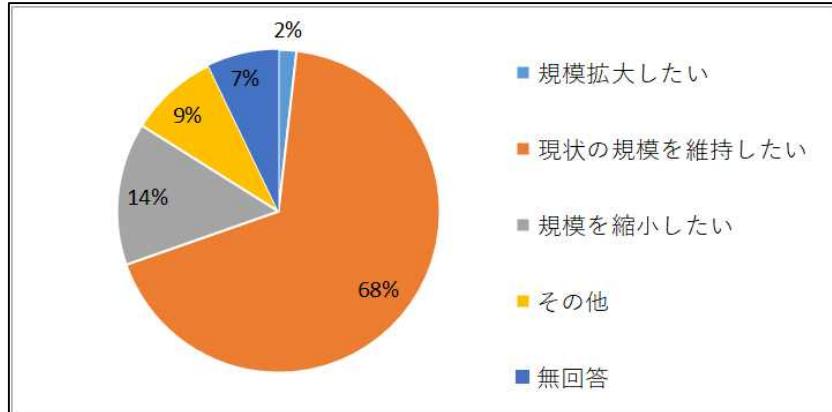


人・農地プラン 検討集計結果（吉井地区）

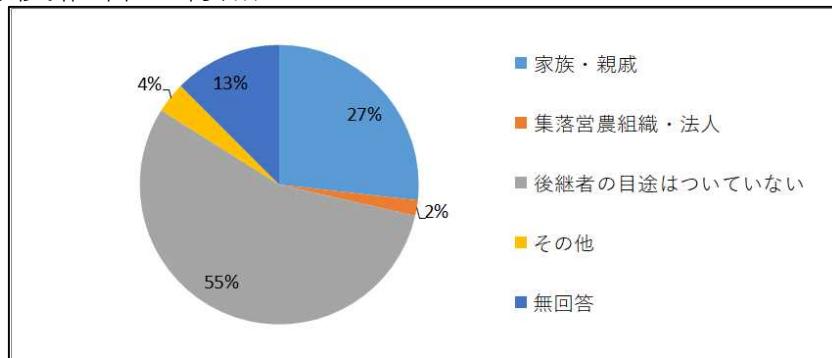
①今後の経営について



③ご意見ご要望

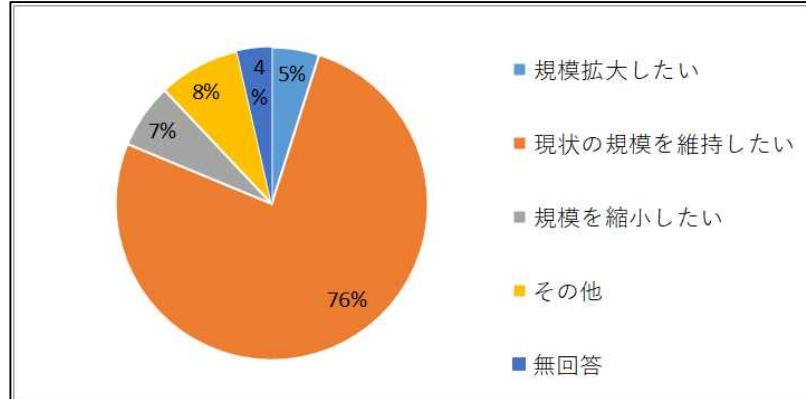
- 農業用水路の維持管理に対する費用の助成金を充実してもらいたい。
- 小農家向けの大農機具のリース事業を充実してもらいたい。
- 他地域との差別化が必要と思う。
- 圃場の農地整備をしてはどうか。
- 農業後継者の発掘及び育成が必要だと思う。
- 後継者不足で営農存続の危機を感じる。

②後継者の有無について

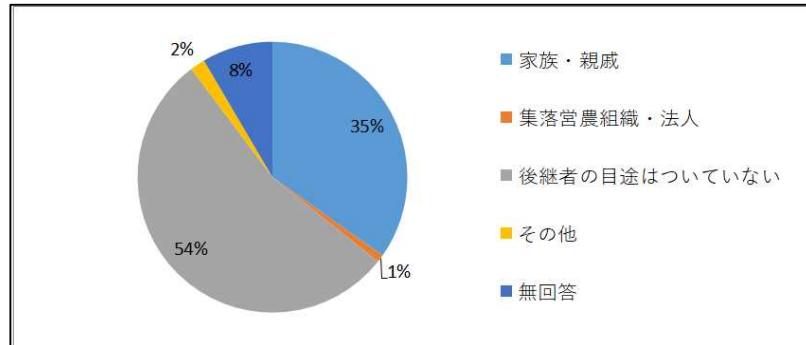


人・農地プラン 検討集計結果（福富地区）

①今後の経営について



②後継者の有無について



③ご意見ご要望

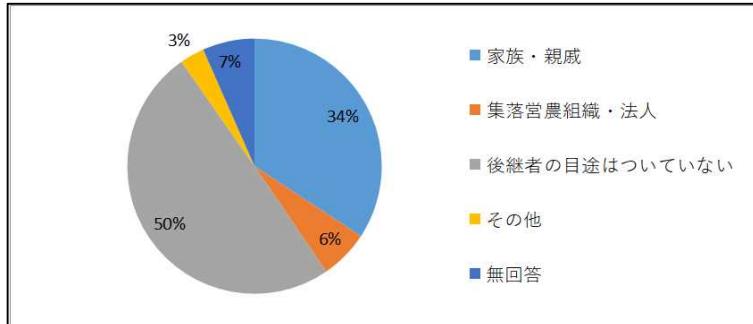
- 意欲ある就農者（新規）に扉を開くべき。
- 果樹の後継者の推進をお願いしたい。
- 後継者の出来る、農業形態を構築してほしい
- 農業維持には機械が必要。購入するには補助金が必要。柿生産日本一でありながら、小規模農家は切捨てられている感じがする。
- 農業経営の維持することも必要ですが、猪等の対策を検討してほしい。（メッシュ・電気柵以外で）
- 隣の畑が荒地しており、管理をお願いしたい。
- 耕作を放棄した柿園の柿の木は隣地する園の病害発生の原因にもなり、切るべきである。
- 耕作放棄された土地を有効に活用できるよう仲介等の政策をとってほしい。
- 農産物の販売価格の維持を行ってもらいたい。
- 確固たるブランド品がない事が問題。
- 減農薬等で体に良い作物を生産出来る様にすすめてもらいたい。

人・農地プラン 検討集計結果（江南地区）

①今後の経営について



②後継者の有無について

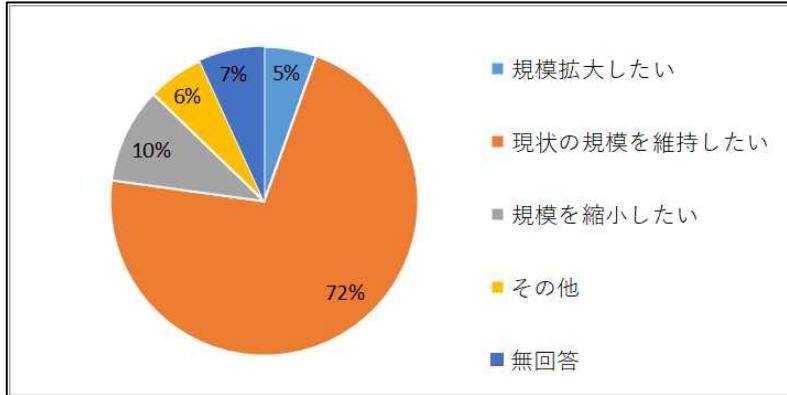


③ご意見ご要望

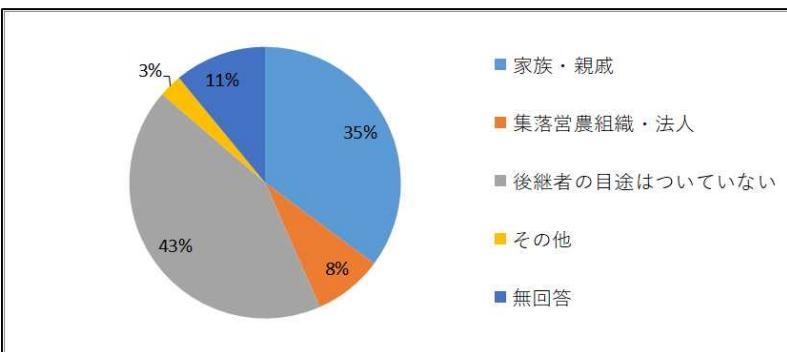
- ほとんど集落の機械組合もあと数年で解散ではないか心配である。
- 個人で機械は高額を要するため、組織している以外の者で利用組合が結成できないか、検討してほしい。
- 担い手不足する中集落単位での法人等組織化を図るべきではないか。
- 農業後継者が居ないので、農業を縮小したい。
- 米以外で複合化して、年間を通して作業ができる作物を作り農業者雇用して拡大化を目指す。
- 大規模農家ばかり優遇している面があり、中規模農家にも支援をお願いしたい。
- 有機農業・固定種栽培等を中心に農の可能性を地域の皆さんと共に展開していきたい。
- 農業に携わっているのが、高齢化しているので、そのうち休耕が増えるのではないか。
- 1年を通して農産物を売り込む様な事をしてはどうでしょうか。
- 経営規模拡大だけでなく、小規模農業と健康・生きがいづくりをマッチングしたらどうか。
- 研修生受入の施設を建て後継者の育成・作業員の確保を行う必要がある。
- 人手不足となり困っています。農業全般で貸借出来るパートさんがいれば良いと思う。
- 一人が病気になると担い手がなくなり、辞めるほかない。
- 営農に直接的な事業、新規就農者への助成などを定期的に知らせていただければ助かる。

人・農地プラン 検討集計結果（千年地区）

①今後の経営について



②後継者の有無について

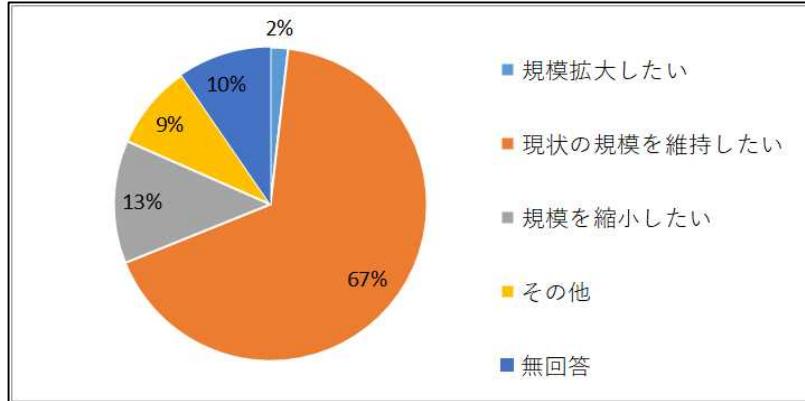


③ご意見ご要望

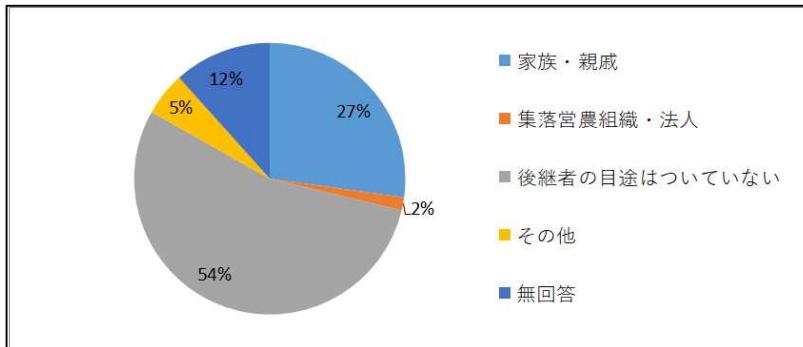
- 畠は自家野菜を作っているが、身体が続かなくなったら売却を含め農業を続ける人に依頼したい。
- 自分も耕作が出来ないし、後継者もいません。
- 5年後個人でしている人は少なくなると思う。
- 米は集落の人にお願いしているが、高齢となり先の見通しが立たない。
- 営農組合を法人化して、高齢化より組合で管理したい。
- 集落営農者・地域農業が生き残れる施策を願う。
- 米だけでなく野菜の生産拡大等に取り組んでいくべきである。地域法人化を促し、組織として取組が必要と思う。
- 認定農業者以外の一般の農業者に機械等の補助をしてほしい。
- 小規模農家に対しては何もない。農機具は必要なので、小規模農家にも目配りを。
- 今の農業は殆どが兼業で農業をしている人が多いと思います。兼業向けの政策をしてほしい。
- 退職後にやっているが、どこの農家も若い人に無理に押しつけられない。大規模農家に早々に委託するには、自分の働く場としての確保も大切で、同じ状況が今の農家の現状だと思う。
- 基盤整備田で小さい圃場は、横の圃場と一緒にして5反以上にしてほしい。
- 基盤整備地区外の農道拡張・整備が急務である。
- 再度の基盤整備大規模水田の整備を。
- 畦草等を切らず、隣の田畠に迷惑をかけている田畠がある。
- 地域ブランド化の推進
- 海外にもっと販売を拡大させるような施策を求める。
- コンバインが壊れたら、委託したい。

人・農地プラン 検討集計結果（御幸地区）

①今後の経営について



②後継者の有無について

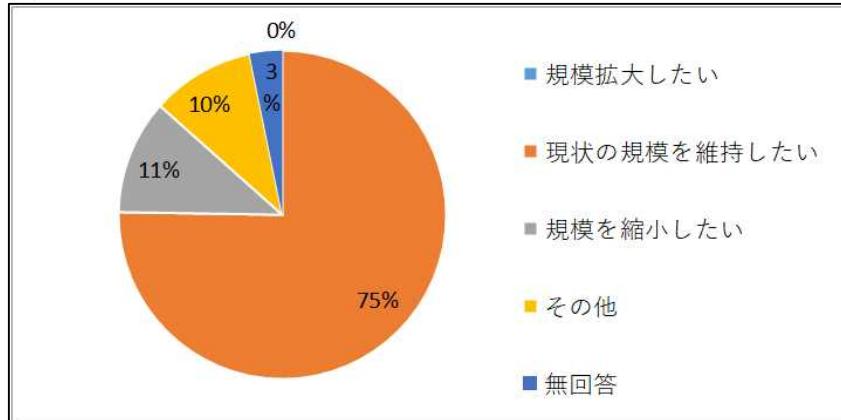


③ご意見ご要望

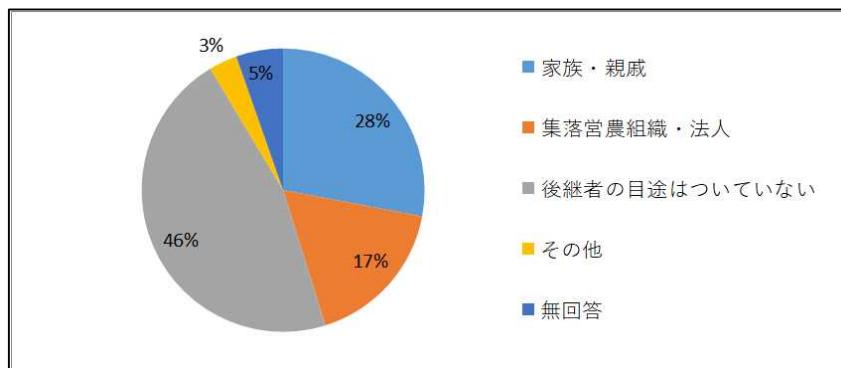
- ・法人化になって農業が楽になった。
- ・小規模営農への支援を願う。
- ・兼業農家への農機具の助成等を拡大してほしい。果樹の場合、農薬代が特に高く、支出の大部分を占めるので、対策を考えてほしい。
- ・うきは市に会社企業を取り入れれば、若い人も地元に残り兼業農家が残っていくと思う。
- ・新規就農者に対する情報提供を積極的に願う。
- ・中山間地の荒園対策をお願いしたい。
- ・海外輸出等に力を入れてほしい。農道の整備。荒廃園が増えているのでどうにかしてほしい。
- ・昨年より小さい柿園ですが実家から引継ぎ、直売所で販売しています。後継者不足で、便利な農地もだんだんと荒れている所が多くなっている。
- ・地域における農業経営の現状は生活環境の変化に伴い、経営の現状維持、規模拡大は期待できない。後継者問題などがその要因となり頻度を深めている。高齢の為、望みはない。
- ・5~10年で中山間地はほとんど廃園になると思われます。圃場整備すれば誰か借りてくれる人がいると思う。
- ・農業を取り巻く状況は子供に後継を託すことができない。明るい見通しが立つよう考えていきたい。
- ・耕作者が居ないため借手を探している。
- ・5年後をめどに農地を処分したい。
- ・景観を活かした取り組みをしてほしい。
- ・イノシシ被害の対策をもっと強く望む。
- ・農業で生活できるような政策を望む。
- ・人海戦術が必要な作業（ぶどうセッティング等）に特化した心材集団を作り、高齢農家を支援する仕組みを検討してほしい。
- ・麦作安定のため、暗渠排水事業を望む。
- ・農地整備、水路等を整備をしないと荒れてしまう。
- ・果樹栽培は急激に辞める人が出てくると思うので、その対策が必要。
- ・農産物販売経路のグローバル化（国外市場への積極的にアプローチ）

人・農地プラン 検討集計結果（大石地区）

①今後の経営について



②後継者の有無について

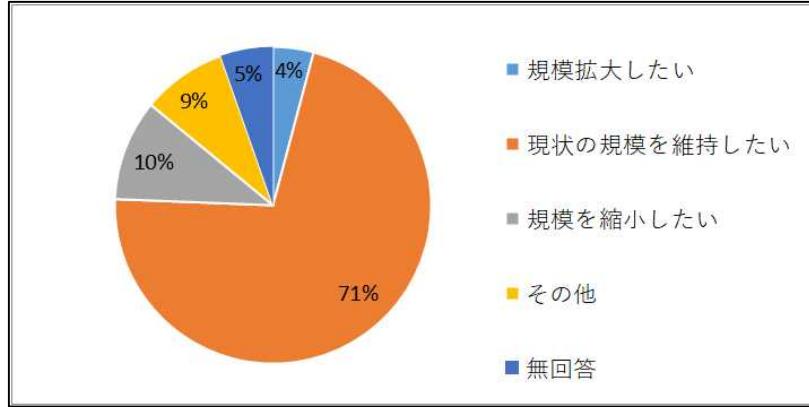


③ご意見ご要望

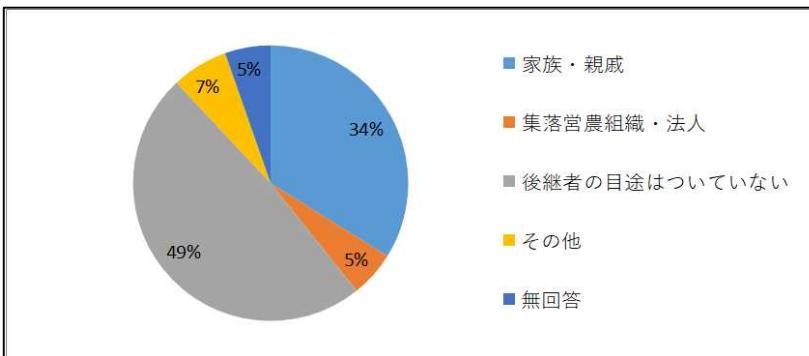
- 少子化時代、担い手もなかなか居ない現在、仕事の休みの日に家庭菜園作りの楽しさ等から農業に关心を持って頂く催しを希望する。
- 高齢化が進む中、子供が農業経験なく、しなくなると思う。作業委託をする時代である。
- 法人へお願いしたいとは思うが、入り口が狭いこともあり、受け入れていただけないのが現状である。
- 農業のやる気のある方（第1種專業農業）及び集落営農法人に特化した補助金の交付だけで良いと思う。
- 農業法人の今後が気がかり。農業法人が立ち行くような農政を願う。

人・農地プラン 検討集計結果（山春地区）

①今後の経営について



②後継者の有無について

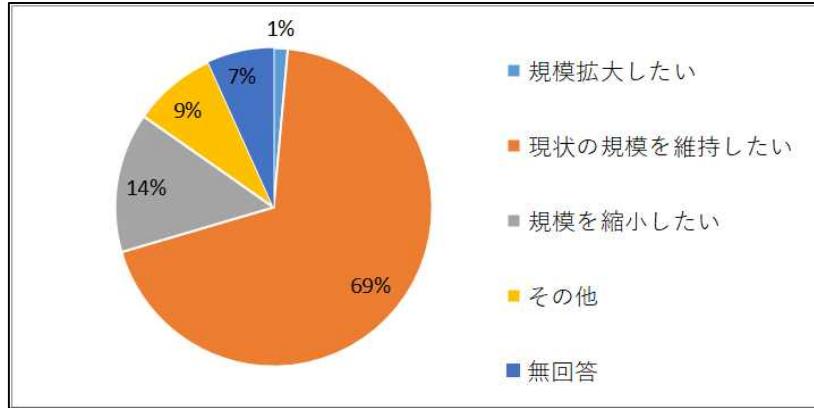


③ご意見ご要望

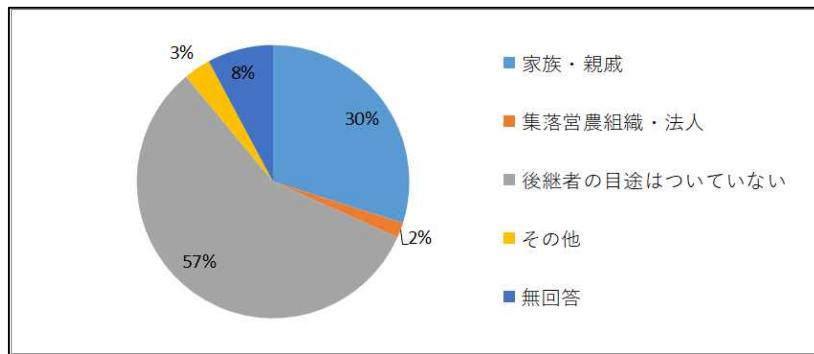
- ・土地利用型農業と施設型農業との住み分けの取組。
- ・団地化することによって新規就農を図る。
- ・小規模農家(兼業)への支援
- ・中山間地の小規模農家の農地維持に対する支援が必要。
- ・中山間地の大規模な造成や基盤整備
- ・中山間農業・特に山間部の収穫収入増の対策支援を。
- ・会社経営にしてもらい、生産・販売・加工・サービス業を一本化したらどうだろうと思う。
- ・猪の駆除。農産物のPR。
- ・「浮羽」のブランド力がほしい。
- ・果樹農家の農薬飛散があり、野菜の露地栽培不可。
- ・兼業で高齢なので、5年後はどうなるか分かりません。国も市も兼業切り捨ての方向のようで、日本独自の姿がなくなるようだ。
- ・放棄地対策も大事だけど、今後農業が継続する対策が必要だと思う。
- ・高齢化等により耕作放棄地が増加することが予想される。担い手に法人組織で預かってもらう必要性がある。人口減少等による国内市場は減少、アジア市場を目指した輸出の取組を市とJAが自らの役割として責任ある体制を作ること。
- ・米の価格が余りにも安いので作りがいがない。肥料・農薬が高いので利益がない。
- ・若い世代は農業では食べていけないと都会へ出ます。他の地域から農業加工体験を通じて出会いの場を作ってほしい。
- ・若者が農業に従事し、うきは市で生活できる環境が広がってほしい。
- ・若い力でうきは市が活性化することを期待する。

人・農地プラン 検討集計結果（姫治地区）

①今後の経営について



②後継者の有無について



③ご意見ご要望

- ・山間部の荒廃地対策の検討、援助等、力を入れてほしい。
- ・耕作地の周囲が耕作放棄により荒廃し、生産に支障となっている。草刈等を早期に対策してほしい。（毎年してほしい。）
- ・荒廃地対策として、空家バンク、土地バンク、人材バンク（地区の高齢者の知恵技術の指導者等）3つの色で募集したらどうか。
- ・山間地の農業は簡単には営めません。場所・条件によっては思い切ったシフトの見直しも必要。
- ・中山間地の農業は伝承しがたい所もあるが、平坦地にない特色と面白さがある。
- ・平坦地からの協力、法人化の整備等。
- ・果樹関係の法人を立ち上げてほしい。
- ・後継者にも新規就農者と同等の補助があればいいと思う。
- ・機械の更新が大変なので補助金の要望
- ・1ha未満の機械購入補助などあれば良いと思う。自力での機械購入は難しくなっていると思う。
- ・高齢化となり集落での取り組み、共同で機械など買いオペレーター等の運営にしてほしい。
- ・今後は営農組合を利用したい。
- ・大規模農家に対しては農機具等の購入資金補助があると聞いていますが、兼業農家に対しても補助をしてほしい。中山間地では高齢化で機械力が必要。荒廃地も減少するし、防災の面も有効である。
- ・農地の集約化・作業委託の安易化・荒廃農地の管理支援を願う。
- ・共同で使用できる機械があれば助かる。
- ・山間部の棚田を活かす。機械の入る農地を選別して運用。集落営農等を集約し法人化としてはどうか。
- ・鳥獣の被害対策が心配。食肉処理場の建設。
- ・猪に困っています。柵の効果なし。近所の田が耕作放棄地が多いため野菜も作れない。
- ・山間地の害獣駆除を徹底してほしい。
- ・両親が体を崩し、現在私と弟で米作りをしています。今、組合を作って米作りを続けていこうという話がでています。中山間地は棚田であり水路の補修等、色々な課題があります。個人の力では難しくなっています。